

ICT研修会について

(文化情報部による校内研修会)

文化情報部

【はじめに】

今回の研修は、3段階のレベルに分けて、ステップアップ式で選択制の研修にしました。ICT活用について理想の授業スタイルを文化情報部で設定し、それを目標に研修を計画に取り入れしました。第1・第2グループでは主に、Google Workspace のクラスルームとMeetを活用したオンライン授業が実施できるように研修計画を取り入れしました。第3グループでは、主に第1・第2グループの活用がすすむと必要になってくるプリント教材の活用方法などを研修に取り入れしました。

それぞれの目標に向けて各教員がオンライン授業を実施するため、学校独自の貸出方法や保管場所の確認など初歩的な部分からステップアップしていけるよう研修を考えました。

授業で活用できるアプリ等を紹介することが多いのですが、スモールステップを目指す本研修にはそぐわないため、その手法を取りませんでした。アプリの内容によっては、教科等で必要性に偏りがたり、活用頻度を考えたりと、今回のオンライン授業が実践できるまでの段階設定を軸に研修内容を計画した方が今後の活用にもつながると考えました。全教員がオンライン授業が実践できるようにする内容を計画しました。

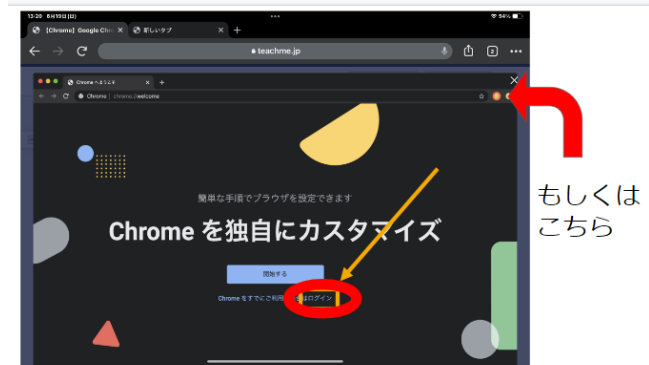
【内 容】

第1グループ

第1グループでは、iPadやGWSの基本的な部分に焦点をあて、「Google Workspaceについて」、「GIGAタブレットについて」、「プロジェクターとApple TVへの接続方法」、「Google classroomの開設方法と招待方法」について研修をしました。

まず「Google Workspaceについて」では、GWSとは「インターネット上で利用するクラウドツールなので、PCやタブレットなどデバイスをまたいで、通信環境さえあればどこからでもツールやデータを活用可能」であることの説明や、Googleアカウントへのログイン方法、同時に同じファイルを作業ができることなど、さまざまな利点があることを説明しました。「GIGAスクール構想について」では、「Society 5.0

Google Workspaceとは



時代に生きる子どもたちに、PC 端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテム」となっており、「児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想」ということを説明しました。「プロジェクターとApple TVへの接続方法」では、HDMIケーブルやHDMI変換ケーブルをプロジェクターのどこの部分に接続するのか、またApple TVを接続した場合、iPadをどのように操作してミラーリングをするのかを説明しました。



次に「Google classroomの開設方法と招待方法」では、Google classroomにおけるクラスの作成方法、メンバーの招待方法について説明をしました。

招待方法として、クラスコードの表示の仕方、どこからクラスコードを入力するのか等、クラスコードを入力してクラスに参加する方法を説明しました。Gmailにて招待する場合は、あらかじめ教員と児童生徒のアドレスを追加しておく必要があることも説明し、アドレスの追加方法を説明したのちに招待コードの送信の仕方について説明しました。他にも作成後のクラス名の編集の仕方、アーカイブの方法などについても説明をしました。

最後に教員用iPadは教員内で共有の端末なのでログアウトの仕方も説明しました。

第2グループ

第2グループでは、「教材データの活用、Google Workspaceでの教材づくりの利点、オンライン授業」の方法について研修をしました。



まず「教材データの活用」では、Google Workspaceのデータ保管場所であるドライブについて説明しました。ドライブには、マイドライブや共有アイテム、共有ドライブがあり、その内容について説明しました。また統合ICT (windows) のデータとGoogle Workspaceのデータをどのようにアップロードしデータやファイルの変換等するか説明しました。

次に「Google Workspaceでの教材づくりの利点」では、Google Workspaceで教材や資料をどのように作成するのかを、主に「ドキュメント」を活用して説明しました。ドキュメントでは、「データ探索や画像挿入、音声入力」の機能がWordと比べると活用しやすい機能の利点として、確認して説明しました。データ探索を活用して画像を挿入することで、ウィンドウの切り替えをせず画像を挿入できたり、著作権を配慮した画像が使用できたり、容易な操作で画像が挿入できるという利点について説明をしました。音声入力については、会議の記録用や入力が苦手な方、児童生徒の文字入力の方法の一つとして機能の説明し、タブレット端末に音声吹き込んでどのように文字入力されるか体験して確認しました。

次にGoogle classroomで、児童生徒等に資料配布する方法について説明しました。資料配布時に、児童生徒の権限を設定することで、授業の用途に合わせて自動生徒が閲覧したり、編集したり権限が変更されることを説明しました。

最後にGoogle classroomを活用したオンライン授業の方法ということで、「Meet・画面共有」について説



明しました。Meetで画面共有を活用することで授業の解説や指導が手元のiPadで直接確認できることについて説明し確認しました。

また研修後の問題解決能力の向上や個々の課題が解決できるような動画検索やサイト検索での、絞り込みの仕方についても説明し確認しました。



第3グループ

第3グループでは、「classroom 職員室」「Forms」「東書webライブラリ」「Kahoot!」の使用方法や活用例について研修をしました。

「classroom 職員室」の項では、職員朝礼連絡簿・共有施設予約表・校務便覧等の資料へのアクセス方法について説明しました。今年度から各教室に1台割り当てている教員用iPad等のタブレット端末から閲覧できるため、職員朝礼に参加できなかった場合でも教室から確認できるようになったことを周知しました。



「Forms」の項ではFormsを活用すると、できることについて説明をしました。これまでの紙によるアンケートの配付・集計をGWSの活用により、メールで一括送信・集計・表も自動生成できるようになり、集計作業から集計結果を活かす業務に労力を多く割けるようになることを説明しました。

「東書webライブラリ」の項では、小中学校の問題データベース・映像データベースにアクセスし、プリント等のデータを利用できることを説明しました。問題データベースでは、テンプレートの使用のみではなく、児童生徒の実態や授業に合わせて編集して組み合わせる利用例も紹介しました。映像データベースの充実したコンテンツの実例を挙げて紹介し、5教科のみではなく、道徳・情報などいろいろな授業場面に合ったものがあることを確認しました。

東書webライブラリでできること

小学校、中学校の
問題データベース、映像データベース等
へのアクセスと利用。

- ・ことばのせかい、国語、書写、社会、算数、数学
- ・理科、英語、技術家庭、保健体育
- ・道徳、特活、総合、生活、情報モラル&リテラシー等

「Kahoot!」の項では、まず大まかな作り方の動画を最初に見てイメージを持ちやすくしました。それからアカウントの作り方を説明し、実際にアカウントを作ってもらいました。アカウント



を作った後は、説明文を入れておいた画像を見ながら、どこを押せば問題の形式が選択問題から〇×問題に変わるのか、制限時間を変えられるのか、正解の選択肢を設定するのか、を説明しました。そして作ったクイズをどのようにして出題するのか、過去に出題した問題の活用法として、どのような問題の正解率が低いかなど

詳細で確認できることを説明しました。また個別に表示できるので一人ひとりの苦手な問題などが見えてくることなどについても説明しました。

問題	形式	用語済み	正解/間違い	時間	ポイント
1 この図の名称 (めいしやう) ...	クイズ	両側性 (しかくちやう)	✓ 正解	13.8秒	654
2 この図の面積の求め方は「何...」	クイズ	True	○ ×	4.9秒	878
3 この図の面積を求めよ	クイズ	42立方センチメートル	✓ 正解	84.5秒	824
4 この図の名称 (めいしやう) ...	クイズ	三側性 (さんかくちやう)	✓ 正解	5秒	874
5 三角形の面積の求め方は「何...」	クイズ	True	✓ 正解	10.3秒	743
6 この図の面積を求めよ	クイズ	105立方センチメートル	✓ 正解	15.4秒	968
7 この図の名称 (めいしやう) ...	クイズ	□ 両側性	✗ 間違い	--	0
8 この図の面積は「(上辺+下...」	クイズ	False	✗ 間違い	6.8秒	0
9 この図の面積を求めよ	クイズ	108立方センチメートル	✓ 正解	23.2秒	953
10 この図の名称 (めいしやう) ...	クイズ	円柱 (えんちやう)	✓ 正解	4.4秒	890

「タブレットドリル」の項では、関係資料のある場所とどんな時に使用することになるのかの点を説明しました。ご家庭にあるタブレット端末やGIGAタブレットにより、学校が休校等になった際にも使用でき学習保証ができるような体制になっていることを紹介しました。

【まとめ】

近年の教育現場では、ICT機器を使用した指導スキルが求められています。今回の研修では、Google classroomとMeetを使用し、多くの教員がオンライン授業に取り組めることを目標に計画を立てました。またオンラインのみならず、教員がホワイトボードに記入するのを見るのではなく、自分専用のiPadから指導を受けることができるので、集中力の向上にもつながっているように感じます。またカラー教材を用意するのも簡単になり、他にもさまざまな点で利点があるのがICT機器を利用した授業展開だと感じます。なかには、ICT関係が苦手な、今回の研修内容等に前向きでない教員もいることが多いように感じました。Google Workspace等の利点や必要性を実感してもらうためICTを活用した学校行事を設定し、必要性の実感やスキルアップを計っていきたいと思います。今後、iPadを使った授業を特定の教員だけが行えるのではなく、教員誰でも全員が行えるスキルになるように丁寧な研修に今後も取り組んでいきます。